

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成21年5月28日(2009.5.28)

【公表番号】特表2008-520186(P2008-520186A)

【公表日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【年通号数】公開・登録公報2008-024

【出願番号】特願2007-533961(P2007-533961)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	16/28	(2006.01)
C 0 7 K	16/46	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)
C 1 2 Q	1/04	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
A 6 1 P	25/02	(2006.01)
A 6 1 P	21/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/16	(2006.01)
A 6 1 P	1/18	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	33/48	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 0 7 K	16/28	
C 0 7 K	16/46	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	5/00	B
C 1 2 N	5/00	C
C 1 2 P	21/08	
C 1 2 Q	1/04	
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	29/00	

A 6 1 P	17/06
A 6 1 P	25/28
A 6 1 P	25/02
A 6 1 P	21/00
A 6 1 P	25/16
A 6 1 P	1/18
A 6 1 P	1/16
A 6 1 K	48/00
G 0 1 N	33/53
	Y
G 0 1 N	33/48
	P

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月10日(2009.4.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

V_H および/または V_L 領域の少なくとも1つの相補性決定領域(CDR)を含む、抗体、抗体断片またはその誘導体であって、前記CDRを決定するアミノ酸配列が、(V_L)配列番号160～162、166～168、172～174、および178～180からなる群から選択され、かつ(V_H)配列番号163～165、169～171、175～177、および181～183からなる群から選択される、抗体、抗体断片またはその誘導体。

【請求項2】

前記抗体、抗体断片またはその誘導体が、哺乳類EAG1イオンチャネルの細胞外または細胞内ドメインの少なくとも1つのエピトープと特異的に結合/相互作用し、かつ哺乳類EAG2イオンチャネルと結合/相互作用しない、請求項1に記載の抗体、抗体断片またはその誘導体。

【請求項3】

前記抗体がモノクローナル抗体である請求項1または2に記載の抗体。

【請求項4】

前記抗体断片またはその誘導体が、Fab-断片、F(ab₂)'-断片、一本鎖抗体、キメラ抗体、CDR移植抗体、二価抗体-コンストラクト、ヒト化抗体、ヒト抗体、合成抗体、その化学的に修飾された誘導体、多特異的抗体、二重特異性抗体(dyabody)、またはFv-断片あるいは別タイプの組換え抗体である請求項1～3のいずれか一項に記載の抗体断片またはその誘導体。

【請求項5】

前記 V_H 鎖および前記 V_L 鎖の各々のうちの少なくとも1つのCDRを含む請求項1～4のいずれか一項に記載の抗体、抗体断片またはその誘導体。

【請求項6】

前記CDRがCDR3である請求項1～5のいずれか一項に記載の抗体、抗体断片またはその誘導体。

【請求項7】

前記軽鎖(V_L)が配列番号2、6、10、14、18、22、26、30、34、38、43および47からなる群から選択され、かつ前記重鎖(V_H)が配列番号4、8、12、16、20、24、28、32、36、40、44および48からなる群から選択される請求項1～6のいずれか一項に記載の抗体、抗体断片またはその誘導体。

【請求項 8】

前記抗体、断片またはその誘導体がラベル基に結合される請求項1～7のいずれか一項に記載の抗体、抗体断片またはその誘導体。

【請求項 9】

請求項1～7のいずれか一項に記載の抗体、抗体断片またはその誘導体をコードする核酸分子。

【請求項 10】

請求項9の核酸分子を含有するベクター。

【請求項 11】

前記核酸分子が、原核生物および／または真核細胞の宿主細胞における前記転写および場合によって発現を可能にする1つまたは複数の制御配列に作動可能に連結される発現ベクターである請求項10に記載のベクター。

【請求項 12】

請求項10または11に記載のベクターを含む宿主。

【請求項 13】

細菌、真菌、植物、両生類または動物細胞である、請求項12に記載の宿主。

【請求項 14】

ヒト細胞またはヒト細胞系である請求項13に記載の宿主。

【請求項 15】

抗体、抗体断片またはその誘導体の合成を可能にする条件下で請求項12～14のいずれか一項に記載の宿主を培養するステップと、前記培養物から前記抗体、抗体断片またはその誘導体を回収するステップとを含む、請求項1～7のいずれか一項に記載の抗体、抗体断片またはその誘導体の調製のための方法。

【請求項 16】

請求項1～8のいずれか一項に定義された抗体、抗体断片またはその誘導体、請求項9に記載の核酸分子、請求項10または11に記載のベクター、請求項12～14のいずれか一項に記載の宿主あるいは請求項15に定義された方法によって得られる抗体、抗体断片またはその誘導体を含む医薬組成物。

【請求項 17】

少なくとも1種の抗腫瘍剤をさらに含有する請求項16に記載の医薬組成物。

【請求項 18】

高増殖性疾患、炎症性疾患、乾癬、または神経変性疾患の予防または治療のための医薬組成物の調製を目的とする、請求項1～8のいずれか一項に定義された抗体、抗体断片またはその誘導体、請求項9に記載の核酸分子、請求項10または11に記載のベクター、請求項12～14のいずれか一項に記載の宿主あるいは請求項15に定義された方法によって得られる抗体、抗体断片またはその誘導体の使用。

【請求項 19】

前記神経変性疾患がアルツハイマー病、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症またはパーキンソン病である請求項18に記載の使用。

【請求項 20】

前記高増殖性疾患が、乳癌、肺癌、結腸癌、腎臓癌、リンパ腫、皮膚癌、卵巣癌、前立腺癌、脾臓癌、食道癌、バレット癌、胃癌、膀胱癌、頸癌、肝臓癌、甲状腺癌、メラノーマ、増殖性疾患または腫瘍性疾患あるいは他のEAGを発現または過剰発現する高増殖性疾患である請求項18に記載の使用。

【請求項 21】

前記炎症性疾患が脾炎または肝炎である請求項18に記載の使用。

【請求項 22】

請求項1～8のいずれか一項に定義された抗体、抗体断片またはその誘導体、請求項9に記載の核酸分子、請求項10または11に記載のベクター、請求項12～14のいずれか一項に記載の宿主あるいは請求項15で定義された方法によって得られる抗体、抗体断

片またはその誘導体、および場合によって医薬的に許容できる担体を含む診断用組成物。

【請求項 2 3】

請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の抗体または抗体断片またはその誘導体を自身の表面上に E A G 1 を担持すると見られる細胞または組織とインビトロで接触させることを含む、E A G 1 発現細胞の存在について評価する方法。

【請求項 2 4】

請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の抗体または抗体断片またはその誘導体を自身の表面上に E A G 1 を担持すると見られる細胞または組織とインビトロで接触させることを含む、E A G 1 の機能を遮断する方法。

【請求項 2 5】

請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の抗体または抗体断片またはその誘導体の適切な用量を含む、高増殖性疾患、炎症性疾患、乾癬、または神経変性疾患から選択される疾患の治療用医薬組成物。

【請求項 2 6】

前記神経変性疾患がアルツハイマー病、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症またはパーキンソン病である請求項 2 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 7】

前記高増殖性疾患が、乳癌、肺癌、結腸癌、腎臓癌、リンパ腫、皮膚癌、卵巣癌、前立腺癌、膵臓癌、食道癌、バレット癌、胃癌、膀胱癌、頸癌、肝臓癌、甲状腺癌、メラノーマ、増殖性疾患または腫瘍性疾患あるいは他の E A G を発現または過剰発現する高増殖性疾患である請求項 2 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 8】

前記炎症性疾患が脾炎または肝炎である請求項 2 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 9】

請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の抗体、抗体断片またはその誘導体、請求項 9 に記載の核酸分子および / あるいは請求項 10 または 11 に記載のベクターを含むキット。